

遠藤 暁及 りようきゆう

危険な道楽、アースキャラバン(8)

果たして人類は、 共通の願いを形にできるのか？



(1) ローマ法王と同じく「原爆の残り火」を

日本のアースキャラバンは、8月6日に京都から始まった。3台の自転車と音楽機材などを積んだ伴走車で出発。温かく見送って下さったのは、檀王の信ヶ原ご住職をはじめ、京都宗教者平和協議会の皆さんだった。途中、滋賀、名古屋、高山、そして松本の各地で、音楽やトークなどのイベントを行う。会場はお寺、教会などいろいろだ。松本は、名前のない新聞の読者もいるヴィオパークだった。

各地で、バチカンのローマ法王にして頂いたのと同じように、「原爆の残り火」を核・武器廃絶の象徴として吹き消して頂きながらの旅である。松本、米原、近江八幡の各市長のほか吹き消して下さった。聖護院門跡門主、浄土宗平和協理理事長、高山別院輪番も喜んで火を吹き消して下さった。各地で多くのメディアにも掲載された。

今回は、ローマ法王の謁見を実現させたアリスと、現場にいた娘ミリアム(12歳)も参加した。(僕は6月のアースキャラバンでは、彼らとヨーロッパを巡った)

(2) 「希望の火」プロジェクト

僕はつい、何でも簡単に実現できると思ってしまうところがある。”ローマ法王と、パレスチナの世界最年少のジャーナリスト少女・ジャナを会わせよう”、と思いついた時もそうだった。面白いことを思いつくと、なぜかその瞬間、僕の頭の中では、すでに実現しているのだ。(結果、現実とのギャップにもがくことになる)

バチカンから帰国後、“人類が共通の願いを形にするプロジェクト”を思いついた。人類共通の祈り(願い)とは?もちろん、「平和」である。

そこで、様々な宗教施設やフェスティバル、また学校などを巡りながら、1つの火に対して、人々に平和への祈りの足を足してもらう。これを地域、そして地球規模で行えば人類が一つの火に祈りのエネルギーを込めていくことが

できる。

まず9月27日、長崎の浦上天主堂で「長崎・誓いの火」を火種に、祈りと音楽のイベントを行う。これを採火し、その後は日本各地の寺院、教会、学校等で、祈りと音楽のイベント等を行いながら日本を横断。11月25日、ローマ法王の東京ミサに届ける。

(3) 果たして音楽は霊を救えるか？

6月のアースキャラバン・ヨーロッパで、僕らのバンド「アミナダブ」は、ウィーン郊外にあるヨーロッパ最大の仏塔でもコンサートを行った。ライブには、オランダ在住の玉本美和(みわ)さんがいらしていた。彼女は「いわゆる”霊的な世界”が見える人だ。みわさんが後日、コンサート体験を送ってくれたので、ここにご紹介したい。

『グラーフエンワース仏塔の中の空間を、アミナダブの浄らかな音楽が満たし始めました。音の響きがとても美しい、...。すると突然、まったく期待していなかったスピリチュアル・ワールドからのイメージが降りて来ました。ご遺体が目の前に現れたのです。しかも、ものすごく多くの、...。パルカン半島で虐殺された人々でした。その方々が、仏塔の中心部に、山のように積み重なっていました。何と天井まで! 私は恐ろしくなって、“おお!!”と、ただただ、見上げるばかりでした。

次の瞬間、とてつもない光の柱が、まるで大きな花火のように、床の下から(地球の中から?)、突き上げるように強烈に上がりました。

その光の柱は、全ての死体の山を貫き、32メートル半の天井を突き抜けて、天に向かいました。私は驚いて見上げるばかり。目の前で起こっていることが正直、信じられませんでした。コンサートは続き、暫くすると、男性の霊が私の前に腰を下ろしました。彼は、アミナダブの音楽を全身全霊で聴いていました。そして、「Life Tide」という曲が始まると、これを聴いたらお浄土に往く」と言いました。

曲の最中、彼は白い鳥に変容し、仏塔の中心部(死体の山があった場所)を何度か円く飛行

した後、天の彼方に飛び立っていきました。彼は癒され、今や自由になったのです!

私は、アミナダブの音楽が真実の癒しをもたらすことを知りました。その力は計り知れず、浄土からの響きは、霊の癒しを可能にするのです。私は、“この音楽が、全宇宙に響き渡りますように!”と祈らずにはおられませんでした。』

実際のところ、ライブ演奏での僕は、心の中でもがくことも多い。直前のリハーサルで満足いく音が出ていても、ライブでは音質が変化したりするのだ。”一日も早く、理想の音をこの世に実現したい”と思わずにはいられない。

***** ★「希望の火」ツアー

- *****
- 9/26日(木) 鹿児島県 前々夜祭: ルーテル鹿児島教会: 祈りと音楽のイベント/アミナダブ LIVE
- 9/27日(金) 長崎 前夜祭: 浦上天主堂 祈りと音楽のイベント/アミナダブ LIVE
- 9/28日(土) 長崎出発式(「祈りの三角ゾーン」) 諫早/円龍寺到着
- 10/3日(木) 門司平和パコダ 祈りと音楽のイベント/アミナダブ LIVE
- 5日(土) 防府市 イオンモール/アミナダブ LIVE
- 6日(日) 広島「平和の灯」採火式 世界平和祈念堂ミサ(祈り)、円光寺(祈り)・7日(月) もみじ作業所(交流会) 広島女学院(16:45~18:00) トークイベント
- 8日(火) 東広島一尾道/妙宣寺一倉敷
- 10日(木) 赤穂 普門寺: 祈りと音楽イベント/アミナダブ LIVE
- 11月15日(金) 京都出発ー 23日(土) 東京(各地でのイベントはこれから交渉)

*詳細は「アースキャラバン」で検索。
 遠藤暁及個人ページ
<https://endo-ryokyu.com/>
 NPO 法人アースキャラバン
 (京都タオサンガセンター内)
 TEL/FAX=075-551-2770



↑松本市長に原爆の残り火を吹き消してもらっているミリアム(12才)と母親のアリス アースキャラバンのサイトにリンクしてます←